

リニアトンネル工事が原因で、

←24年10月に気泡・湧水発生（町田市小野路）　25年10月には道路が13㎝隆起（西品川）→



そしてこの夏　小野路で地下の固い地盤で突然停止

品川では異音によってマシン停止したままの状態

リニアトンネル工事トラブル続出情報隠すJR 東海

『住民の安全と財産を守るため にできること』

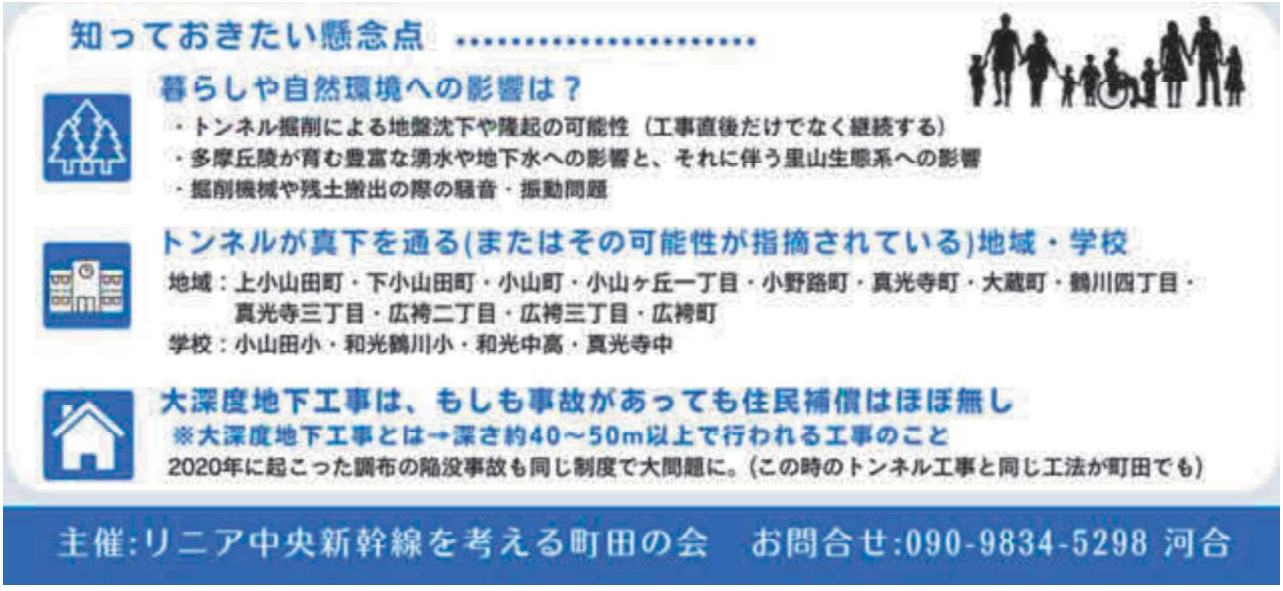
【現状報告と話し合い】

◆日時：１０月１０日（土）１４時～15時30分

終了後　リニア町田の会定例会　これからの取組みについて

◆場所：町田市民ホール 第3会議室

★資料代　３００円



１１月２８日（土）には、『リニア工事と自治体の役割』（仮題）で樫田秀樹氏（ジャーナリスト）の講演会も予定しています。（13時半より　鶴川いちょう会館　にて）

◎2023年7月以来、町田市北部約10kmにわたり、JR東海によるリニア中央新幹線の大深度トンネル掘削工事が行われています。(前年に発表した計画から5カ月遅れのスタート)

◎2024年10月22日。小野路宿通り沿いの民家の庭先に突然水が湧き出し、側溝に流れ出しました。水が湧き出したところからは、激しく気泡が発生。11月8日頃からテレビ、新聞でも報道されました。JR東海はリニア工事が原因と認めています。　↓テレ朝報道

◎2025年10月28日品川区西品川の道路が最大13㎝隆起しました。JR東海が現場を掘り返し、リニア工事が原因であることを認めています。今年7月29日にマシンから異音が発生して緊急停止。それ以降止まったままです。品川での工事トラブルは５件目。

町田市内のリニア工事の状況　　↓JRの発表　９月１４日現在小野路立坑から西に約1000ｍの位置（小野路の万松寺周辺）にシールドマシンが進んでいます。



今後　下小山田、上小山田地域の地下に進む計画。

工事トラブルの公表が約１ヵ月遅れ　さらに、再停止したことは発表せず

小野路工区では①7/31～8/25と②8/28～8/31の期間シールドマシンが停止していました。JRは基本毎週月曜にホームページで工事の状況を公表しているのですが、8/3のHP更新では停止の事実を公表せず、8/24になって初めて公表しました。さらに、8/31の発表時点では停止中にもかかわらず「停止しましたが、その後シールドマシンの状態を確認しながら、慎重に掘進を行っております。」と不正確な表記で②の停止が分からないように発表しています。トラブルの詳細を問い合わせても、①は固い地山に食い込んで停止としか答えず、②については回答を差し控えるという隠蔽状態です。町田市に停止中の報告をしたのも8/24になってからという酷さです。

これ以前の４/27～5/10・5/16～6/15の期間掘進停止しており、毎週のHP発表では現在位置の表記だけで、「掘進停止中」「段取替え」など以前はあった表記はないまま止まっていました。電話で問い合わせても「つど発生する一時的な点検」としか答えず、約一ヵ月に渡って止まっているにもかかわらず、なぜ、計画外の点検が行われ、長期化しているのか答えません。問い合わせる点検内容を問うと「状況に応じての一時的な点検」と回答。その「状況」についてはなかなか回答せず、やっと「シールドマシンのビットの摩耗や欠けの点検」と回答。「予兆や状況」をさらに問うと「詳細は差し控える」と回答。地下で何かが起こっています。安全確保には情報公開は重要なのに、JR東海の隠蔽体質は深刻です。

今後、安全に工事が行われるように求めていくこと　工事中に限らず、今後不具合が生じた場合の補償はどうなるのか　JR東海に確認していくことが必要なのではないでしょうか。リニア工事の現状と問題点を報告し、住民の安全と財産を守るために何か大切かを一緒に考えていきましょう。